

関東ブロッククラブネットワークアクション2017開催報告

日 時：平成29年11月11日（土） 10：00 ～ 17：00

会 場：ゆいの森あらかわ（東京都荒川区）

内 容：テーマ：「クラブと“しょうがい”スポーツを知ろう！」

1. 共通プログラム「地域スポーツクラブと障がい者スポーツ団体の連携」
2. パネルディスカッション「“しょうがい”スポーツを語ろう！」
3. セレクトセミナー【1】※
 - ①「障がい者スポーツ事業の事例発表とボッチャ体験」
 - ②「吉本興業『ふるさとアスリート』紹介」
 - ③「『スポーツ鬼ごっこ』紹介」
 - ④「ネットによる参加者募集サイトの紹介」
4. セレクトセミナー【2】

※テーマを複数設定し、参加者が自由に選ぶことができるセミナー。参加者はセレクトセミナー【1】及び【2】において2つのテーマを選択することができます。

【概要】

午前中は全国共通プログラムテーマ「地域スポーツと障がい者スポーツ団体の連携」として東京都障害者スポーツ協会の職員による情報提供、事例発表をいただきました。その後、日本体育協会より情報提供がありました。

午後はパネルディスカッションとして、「“しょうがい”スポーツを語ろう」をテーマにオリンピック選手、パラリンピック選手、デフリンピック選手による、生涯スポーツ及び障がい者スポーツについて語ってもらいました。

セレクトセミナーは4つのテーマに、参加者がそれぞれ2つ受講できる形態で実施しました。終了後は実行委員（小出委員、菊池委員、相澤委員、小野委員）による各セミナーの概要報告が行われました。



【内容】

1. 共通プログラム「地域スポーツクラブと障がい者スポーツ団体の連携」

発表者：藤田 勝敏 氏（公益財団法人東京都障害者スポーツ協会）

助言者：高山 浩久 氏（東京都障がい者総合スポーツセンター）

東京都障害者スポーツ協会の活動内容の紹介をし、「いつでも、どこでも、いつまでも」の考えから、障がい者スポーツをもっと身近に感じてもらう事業を行っていると説明がありました。そして、現在推進している「障害者スポーツ地域パワーアップ事業」では、障がい者スポーツのノウハウを持つ協会職員が区市町村、地域スポーツクラブ等の実施、定着に向けて連携、協働することにより、障がい者スポーツの取組を促進し、障がいのある人が身近な地域で継続してスポーツを楽しむことができる環境づくりの推進を支援していますと、冊子等の資料を元に解説していただきました。また会場の方から、実際の活動への受け入れにあたっての悩みに対してそれぞれの回答をいただきました。



2. パネルディスカッション「“しょうがい” スポーツを語ろう！」

オリンピック選手渡邊高博氏、デフリンピック選手高田裕士氏、パラリンピック選手高田千明氏による生涯行なうスポーツの在り方、障がい者スポーツの関わり方を語っていただきました。スポーツは続けてみて初めて価値がわかる、サラリーマンも定年前からスポーツを始めることでその後も楽しくなれる、健常者も障がい者も一人では生きていけないから、いろいろなところに出向き、多くの人と関わることにより、健康で元気でいられる等々、各アスリートならではの視点で語っていただきました。



3. セレクトセミナー

昨年の埼玉の方式を見習いつつ、さらにテーマ数を絞り込んで実施しました。今回は4つのセミナーを準備し、今回のテーマである障がい者スポーツとの関わりをはじめ、事業拡大、参加者募集等の各クラブが悩んでいそうなものを準備しました。準備段階では各セミナーの人員配分がどうなるか気掛かりでしたが、特に大きな偏りもなく、移動に関してもスムーズに行われました。



【まとめ】

今回のテーマは障がい者スポーツが中心でしたが、障害者スポーツ協会の方の話も具体的で、わかりやすかったです。パネルディスカッションも障がいのある方からの直接的な話であり、前向きに一生懸命生きている姿に、皆さんも感銘を受けていました。セレクトセミナーも今回は会場の都合もあり4つと絞り込みましたが、新しい提案をすることができました。

また、当日は東京 SC ネットの皆さんのご協力によりスムーズな運営が行うことができました。ありがとうございます。平成30年度開催予定の神奈川県で再会することを誓い、盛会裏に終了しました。